

目 次

第1章 環境学と社会

1.1 環境とは何か	1
1.1.1 環境と生態系	1
1.1.2 環境容量と環境汚染	2
1.1.3 物質循環と環境汚染	3
1.2 社会と環境とのかかわり	5
1.2.1 経済活動と環境問題	5
1.2.2 大量生産・大量消費・大量廃棄社会からの脱却	6
1.3 持続可能な社会と環境学	8
1.3.1 持続可能な社会とは	8
1.3.2 持続可能な社会を目指した環境学	9
演習問題	11
参考文献	11

第2章 地域環境問題

2.1 わが国の環境小史	13
2.1.1 環境問題の変遷	13
2.1.2 産業型公害の概要	17
2.2 地域環境問題とその発生の仕組み	23
2.2.1 大気汚染	23
2.2.2 水質汚濁	28
2.2.3 土壌汚染	34
2.2.4 廃棄物問題	35
2.2.5 化学物質汚染	41
2.2.6 放射性物質汚染	46
2.2.7 その他の環境問題	51
演習問題	54
参考文献	55

第3章 地球環境問題

3.1 地球温暖化	57
3.2 オゾン層の破壊	63
3.3 酸性雨	66
3.4 生物多様性の損失	68
3.5 その他の地球環境問題	74
演習問題	76
参考文献	76

第4章 環境法

4.1 環境法の体系と環境基本法	77
4.1.1 環境法の体系	77
4.1.2 環境基本法	80
4.2 典型七公害に係る法制度の概要	81
4.3 廃棄物・資源循環、化学物質、自然環境保全等に係る法制度の概要	84
4.3.1 循環型社会形成推進基本法と廃棄物関連法	84
4.3.2 資源循環（リサイクル）関連法	89
4.3.3 化学物質関連法	95
4.3.4 自然環境保全関連法	98
4.4 地球環境保全に係る法制度の概要	99
4.5 環境影響評価法の概要	101
演習問題	103
参考文献	104

第5章 社会経済システムと環境政策

5.1 人口問題と生活スタイル	105
5.1.1 人口増加と環境影響	105
5.1.2 エコロジカルフットプリント	107
5.1.3 生活スタイルの変化と環境影響	109
5.2 社会経済システムと環境保全	114
5.2.1 生産活動における環境要素と外部不経済	114
5.2.2 自然資本の枯渇と人工資本	115
5.2.3 経済学による環境問題へのアプローチ	115
5.3 低炭素社会の実現に向けた環境政策	116

5.3.1 二酸化炭素排出削減のための環境政策	116
5.3.2 国連による地球温暖化対策	118
演習問題	120
参考文献	120

第6章 都市・地域の環境管理

6.1 都市活動による二酸化炭素の排出	121
6.1.1 都市活動の影響	121
6.1.2 エネルギー利用と二酸化炭素の排出	122
6.1.3 二酸化炭素の排出要因	123
6.2 都市施策による環境管理	124
6.2.1 都市の成長による環境問題	124
6.2.2 コンパクトな市街地形成の方策	125
6.3 地域の自然環境保全	127
6.3.1 生物多様性を守る	127
6.3.2 里地里山の保全	130
6.4 環境アセスメントの実例	131
6.4.1 環境アセスメントの方策	131
6.4.2 実例	135
演習問題	138
参考文献	138

第7章 環境教育・環境倫理

7.1 環境教育, 環境学習	139
7.1.1 持続可能な開発の考え方	139
7.1.2 環境教育と啓発	141
7.2 環境倫理	142
演習問題	144
参考文献	144

索引	145
----	-----